



奥七沢 亀石 (撮影：小林会員)

令和5年3月号 Vol. 227
(2023年)

発行：令和5年3月4日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 澤田 正弘

＜愛甲三郎季隆の旧跡を訪ねて＞

行事区分：企画ガイド（歴史探訪）

日 時：2月9日（木） 9：30～12：50

場 所：円光寺～熊野神社～宝積寺～愛甲三郎館跡～小野神社

参 加 者：一般16名、会員7名

今回は大河ドラマを盛り上げる目的で、かながわガイド協議会加盟の21団体が地域にふさわしい企画をするということで始まり、県観光協会HP“観光かながわ NOW”でも募集していました。翌日は雪の予報もありましたが、この日は天候にも恵まれ気持ちの良い歴史探訪が期待され、参加者16名が愛甲石田駅北口に集まり2組に分かれ時間差でスタートしました。参加者の中には自宅から集合場所まで歩いてこられた方、地元の方で見学地をもう知っている人もいました。その人たちのお話も聞きながら先へ進みました。

今回は2箇所の道標を回りましたが、共に周りが整備されておらず説明が読みにくい事、狭い所でたくさんの方が集まって説明を聞く事が安全面で気になりました。同じく駅前のスタート前の説明も通行者等に少し配慮すべきだったと思いました。今回の企画では県から帰りにアンケートをとることが求められていましたが、事前にお話をして帰りまで印象を忘れ無いうちに記入してもらった必要があったかもしれません。今回は愛甲地区市民センターで部屋を借りて中休みを取ったことは皆さん良かったと感じたようです。

お客様の中に帰りの時間を気にされている方がいて、終わり時間の案内が足りなかったかもしれません。メインの愛甲三郎館跡では私見を加えた話法のガイド法が勉強になりました。小野神社では歴史ある史跡がたくさん有ることを厚木の皆さんにもっと知ってもらいたいとの気持ちが伝わってきました。私の反省は熊野神社の由来を勉強し説明の時に舌を噛みそうな祭神の名前があり練習をしたのですが他の説明に気を取られて祭神の名前を言い忘れてしまいました。

石造物、石灯籠の説明では「附けたり」という言葉を知り、毎回新しい勉強が出来て良い半日でした。

(小林 記)



《冬季入込観光客調査》

行事区分：行事支援

日 時：2月5日（日）9：00～16：00

場 所：厚木市内5拠点

参加者：計10名

相模川三川合流地点（青少年広場）

この日は昼頃一時雲が出て日があたらない時間もありましたが、風が冷たいことを除けば、概ね好天に恵まれ行楽日和でした。

河川敷には大小さまざま、色とりどりのテントが並び、休日をエンジョイしていました。テニスコートと野球場も終日盛況でしたが、多目的広場は寒さのせいか、ほとんど人がいませんでした。

調査地点の傍に夜間閉鎖についての掲示板があったのですが、意味が読み取れないらしく、掲示板を見た人から、記載の意味についての質問が多く寄せられました。そのほか、河川敷の利用についての質問も多くありました。横浜から自転車で来られた方からも河川敷でのキャンプやバーベキューができるのか、料金はいくらくらいかなどのお尋ねがあり、ここを気に入ってもらえたようです。

アンケートは、主に河川敷でくつろいでいる皆さんにお願いしましたが、回答のお礼にお渡しするあゆコロちゃんのクリアファイルは好評で午前中でなくなってしまいました。



また、午前中自転車を積んだ自動車が何台も入場するので何かあるのかなと思っていると、十数台の自転車が集合。宮ヶ瀬にサイクリングに出かけ、2時間半ほどして戻ってきました。

河川敷を駐車場として利用し、こういう楽しみ方もあるのだなと感心しました。

なお、サイクリングの皆さんには地図の入ったパンフレットが好評でした。（清田邦 記）

広沢寺温泉（七沢観光協会駐車場）

今日は「寒い！」の一言です。それでも晴れて風も穏やかで調査日和とでも言うのでしょうか。調査用具をセットする場所は開始時間では陽が当たらず、駐車場前の道路には朝日がさして暖かそうなので、調査の合間を見て時々そちらに日向ぼっこに行きました。調査の仕方は相方のIさんに教わりましたが、もっぱらアンケート調査に専念しました。

「あの二人はどこへ行くのだろう？」「おじさんは一人でどこへ？」「グループはどここの仲間？」「家族連れは？」「スポーツカーで広沢寺に？」「バイクで山もいいよな～」「お！トレランか！若くていいな～」…とかなんとか、アンケートも多く回収でき、また話ができて楽しかったです。クライマーを見るとタメ口になり仲間と勘違いしてしまいました。

鐘ヶ嶽と見城のハイカーが多く、自分が気づかないコースを楽しむ方もおられて参考になりました。トレランの若者がゴミを回収してきてくれました（走りながら、吸い殻のような小さいものをビニール袋に入れて持っていました）お礼を言っておきました。

寒いから観光客は来ないのではと思っていましたが、満車になりました。「ここは、いいところですよ！」と、なんと土浦からスポーツカーで来たナイスガイが言ってました。「もっとここを宣伝したらいいよ」「アンケートに協力したら粗品をくれるの?」とってくれる明るい単独行のおじさんもいました。皆さん、また来てください!またお会いしましょう!

看板にあったミツマタに興味をしめされる観光客がたくさんおられました。大釜弁天様も大変な人気です、温泉好きな方も多いです。今回は、パンフレット以外に分かりやすく紹介できるものを作成用意したいと思いました。(藍澤 記)

《2022 年度入会の会員紹介》

昨年 10 月と 11 月に 2 名の方が入会されました。協会ニュース用に自己紹介文を投稿して頂きましたので掲載します。(編集担当)

横山 克己 (よこやま かつみ) 10 月入会

私は子供の頃から自然の中に身を置くのが性に合っていました。定年後、地元の荻野自然観察会に入会して諸先輩から自然観察のイロハを学びました。その後、自然保全センターの自然観察指導員養成講座を受講して「自然観察指導員」の資格を取りました。保全センターを中心に県内で観察会のガイドを行って 15 年ほど経過しました。同時期に楊名時健康太極拳を習い始め、13 年後に師範の資格を取り、現在荻野公民館と七沢公園で太極拳教室を開設しております。現在所属するサークルは①NPO 法人かながわフィールドスタッフクラブ理事②NPO 法人日本健康太極拳協会会員③あつぎこどもの森クラブ④荻野自然観察会⑤あつぎ観光ボランティアガイド協会と多岐に亘っており、スケジュール管理に苦労しております。第二の故郷厚木市の自然・文化などの知識を深め、今後のガイド事業に関わりたいので、よろしくお願い致します。

七尾 沙織 (ななお さおり) 11 月入会

はじめまして、七尾沙織と申します。厚木市に住み始めて 7 年目となります。子育て支援が充実しており、市役所の方も優しい方が多くて、少し行けば温泉もあり大変住みやすく気に入っている街です。個人的には、神社仏閣が好きなので、観光ボランティアに参加して厚木市の歴史や神社仏閣についても知ることができたら嬉しいです。よろしくお願い致します。

《あつぎ十二支寺社巡り御朱印モニターツアー》

行事区分：行事支援 (厚木市観光協会主催)

日時とルート：

1 回目 2 月 4 日 (土) 9:00~16:00

中町大型バス発着場~延命寺 (辰)~天宗寺 (丑)~大蔵寺 (戌)~円光寺~愛甲三郎館跡~縁切り橋~ベンガル (昼食)~長谷寺 (午)~発着場

2 回目 2 月 10 日 (金) (降雪のため中止)

発着場~苺一縁~養徳寺 (未)~常昌院 (巳)~厚木あゆ種苗センター~南蛮屋 (昼食)~妙純寺 (子)~発着場

3回目 2月16日(木) 9:00~16:00

発着場~専念寺(卯)~本照寺(申)~観音寺(酉)・勢至堂(亥)~玉翠楼(昼食)~
広沢寺(寅)~玉翠楼(温泉入浴)~発着場

参加者:会員10名(2回述べ)

近年全国的に神社仏閣の御朱印集めが静かなブームになっていますが、厚木でも「もっと寺院に親しみを持ってもらう方法を考えよう」と有志寺院「11ヶ寺+1堂」が「厚木巡礼史跡文化の会」を設立され、各寺に12の干支(エト)の動物を振り分けられて、さらに専用の御朱印帳も作り、巡礼方法の企画が為され、一昨年末頃から活動が開始されました。厚木観光協会も、厚木の観光促進の為本企画に協力され、今回の「モニターツアー」開催に至ったものです。



長谷寺(長谷)での座禅体験

ツアーの特徴は厚木市内を北、中、南と3エリアに分けて該当する寺院及びその地域の観光施設(食事、買い物、温泉入浴等)を組み合わせ、タクシーで3回に分けて巡るコースで、私達あつぎ観ボラ会員が、タクシー添乗ガイドするという初めての催しです。募集人員20名/回を5台のタクシーに分乗、観ボラ会員が助手席に乗り、移動中も地域の歴史や史跡を車窓越しに説明するという方法で巡りました。以前観光バスの添乗ガイドの経験は何度もありますが、今回は少し趣きが違い、始めは戸惑いましたが、乗り降りを繰り返す毎に慣れてきました。寺院の案内は各寺院のご住職自らお出迎え頂き、寺院の歴史、

ご本尊などの説明、宝物の見学、さらには座禅(長谷寺)、写経(観音寺)の体験など十二支巡りに相応しい応接を頂きました。また温泉入浴も好評でもう少し長く入浴したいという方が多くおられました。



本照寺(下古沢)本堂

第3回目コースの七沢・玉翠楼での昼食時、参加者の皆様がただ黙って食事をされて静粛が続いており、見かねた観ボラ会員の一人が会場を和らげる為、七沢地域を歌った「七沢小唄」を披露する一幕があり、その後会場の雰囲気が一挙に和やかになり、こんな「おもてなし」方法

もあるのかと同僚にひやかされました。

今回の「モニターツアー」は、全コースをタクシーで巡り、盛り沢山な催しで参加費は少々高めでしたが、各回とも募集人員(20名)を上まわる応募があり、終了後のアンケート調査でもおおむね好評で成功だったと感じました。厚木市観光協会主催の行事の一つに育って欲しいと思いました。(山田 記)

最近の活動

日付	場所	内容	参加者
2月 4日	厚木市内 4 寺	あつぎ十二支寺社巡り御朱印モニターツアー 1 回目	会員 5 名
2月 5日	厚木市内 5 拠点	冬季入込観光客調査	会員 10 名
2月 9日	愛甲・小野	企画ガイド 「愛甲三郎季隆の旧跡を訪ねて」	会員 7 名
2月 11日	アミューあつぎ	定例会	会員 23 名
2月 16日	厚木市内 4 寺 +1 堂	あつぎ十二支寺社巡り御朱印モニターツアー 3 回目	会員 5 名
2月 16日	ひらつか市民 活動センター	かながわガイド協議会 幹部研修会	会員 2 名
2月 18日	奥七沢	下見 企画ガイド 「奥七沢パワースポットと神秘の里」	会員 9 名
2月 25日	奥七沢	企画ガイド 「奥七沢パワースポットと神秘の里」	会員 10 名
2月 27日	南公民館	編集会議	会員 3 名

※2月10日予定の「あつぎ十二支寺社巡り御朱印モニターツアー」の2回目は降雪のため中止になりました。

編集後記

梅の花が咲きました。寒かった冬もそろそろ終わり、春の訪れが待ち遠しい日々です。
神奈川県では3月13日（月）からマスク着用の考え方が見直され「個人の判断に委ねる」ことになりました。但し混雑する所、症状がある人、医療機関への受診時や面会時、高齢者施設等への訪問時はマスク着用が必要です。マナーを守って行動しましょう。

編集委員 阿部 啓冊 小林 直樹 澤田 正弘